

タグラグビー

短時間でゲームまで

〔伊勢崎市立境小学校での実践例〕

○活動・取組の概要

タグラグビーの指導において、比較的短時間でゲームの流れまでつかめるものです。作戦を立てたり、攻め方・守り方を工夫したりする時間に重点をおけるよう、1時間程度で簡単なゲームまで行えるものとなっています。

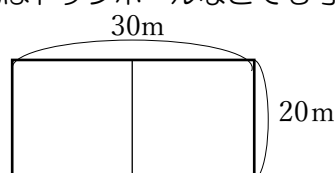
実際には、講師を招いて実践していただいたものですが、難しいものではなく、その後の授業内でもスムーズに取り組むことができました。単元の導入として、毎年タグラグビー教室を開催しています。

○準備

（用具） ・ラグビーボール（3人に一つあるとよいが、なければドッジボールなどでも可）

・タグ人数分（1人2本。なければハチマキでも可）

（場作り） 30m×20mのコート（5対5の規模）



○活動・取組の方法

〔前半（タグに親しむ）〕

- ①2人ペアで向かい合って、タグに手をかけた状態から、笛の合図に合わせて同時にタグを取る。（左右）タグを取ると同時に上に掲げ「タグー！」と叫ぶ。
- ②2人ペアで握手。笛の合図で握手していない方の手で、相手のタグを取り合う。
- ③チーム対抗でタグ取り鬼ごっこ（歩き）

〔後半（ラグビーボールに親しむ）〕

- ④3人一組で三角形を作り、先頭の子がボールを持って歩く。後ろのどちらかにパスをしたら、ボールをもらった子を先頭に、三角形を作り直してを繰り返す。（慣れてきたら歩きからジョギングまで）三角パスで「パスは後ろだけ」を落とし込む。
- ⑤30×20mコートで、5対5でゲームを行う。
ルールはシンプルに、反則は前パスとラインタッチのみ。

①



②



③



④



⑤

